

洗濯の実践が歩行での生活スタイル確立に繋がり独居生活に復帰できた症例

関口 菜々美¹⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 リハビリテーション部

[はじめに] 独居生活への復帰を目指していた脳梗塞回復期の症例を担当した。車椅子への依存が強かったが、慣れ親しんだ作業である洗濯の実践を通じた関わりが、退院後生活のイメージを高め、歩行での生活スタイル確立に繋がり、独居生活に復帰できたため報告する。

[事例紹介] **症例** 50歳代男性 **現病歴** X年Y月Z日 右片麻痺出現、脳梗塞の診断で当院入院となりリハビリテーション（リハ）開始。Z+17日 回復期リハ病棟へ転棟。 **診断名** アテローム血栓性脳梗塞（左内包後脚～中心前回） **障害名** 右片麻痺、感覚障害、注意障害 **病前生活** 独居で生活自立。洗濯機を2台所持し、衣服により使い分けていた。バスの運転手をしていた。 **HOPE** 独居生活に戻りたい。

[作業療法評価（Z+18～26日）] **意識** 清明 **随意性** 右 BRS II - IV - II **感覚** 触覚・位置覚 軽度鈍麻 **MMSE** 29点 **TMT** A：147秒、B：300秒 **基本動作** 監視～軽介助 **ADL** FIM 合計 66点（運動 41点、認知 25点）、移動は車椅子監視 **洗濯** 週2回、病棟の洗濯機・乾燥機で洗濯。運搬は車椅子監視。

[問題点] 基本動作・ADL能力低下。車椅子での生活となっている。

[目標] 長期目標：歩行でADL自立・IADLを獲得し自宅生活を送ることができる。中期目標：歩行で日中の病棟生活を送ることができる。

[治療プログラム] まずは車椅子でのADL自立を図る。その後、歩行でのADL練習、洗濯練習を実施し、歩行での病棟生活獲得を図る。

[介入経過] **Z+18～47日** 身体機能訓練、ADL練習を実施し、車椅子で入浴以外自立となった。**Z+48～80日** 歩行でのADL練習に加え、訓練室にて歩行での洗濯訓練を実施し監視で可能となる。病棟歩行自立となるが、トイレ以外は車椅子で生活し、歩行の自主練習にも消極的。歩行での生活を提案するが、衣服の運搬に必要とことから車椅子への依存が強い。**Z+81～104日** 病棟でも歩行で洗濯することを目標として共有、実践し自立レベルとなる。「退院後の生活を見据えて病棟でも生活したい」との希望あり、大部屋から個室へ移動。その際に歩行での生活を再度提案し、了承される。生活全般の移動手段が歩行へ移行し、歩行の自主練習にも積極的になった。

[最終評価 (Z+101~103 日) ※退院後情報は Z+158 日聴取] 意識清明 随意性 右 BRSIV
- V - III 感覚 触覚・位置覚正常 MMSE 29 点 TMT A: 139 秒、B: 194 秒 基本動作 自立 ADL FIM
合計 115 点 (運動 80 点、認知 35 点)、移動は杖歩行自立 洗濯 歩行で自立レベル 介護保
険サービス CM と相談しながらヘルパー週 2 回、配食サービス 退院後情報 本人に電話聴
取。ADL 自立し洗濯は毎日自分で実施。次の目標に運転などを考えている。

[考察] 症例は独居生活への復帰を希望しており、リハでは歩行での ADL 自立・IADL 獲得
を目標とした。しかし、病棟歩行が自立となっても、車椅子への依存が強く、退院後
に歩行で生活するイメージができていない状態と推測された。それに対して、洗濯を
歩行で行なうことを目標として共有し、動作訓練と病棟での実践を図った。その結果、
洗濯だけでなく病棟生活全般の移動を車椅子から歩行へ移行できた。そして、退院後
も自立した独居生活を継続できていた。洗濯は症例にとって慣れ親しんだ作業であっ
たため、退院後生活での実践場面をイメージしやすく、歩行で行なう必要性を感じや
すい特徴があったと考えられる。そのような特徴のある洗濯の実践をきっかけに、そ
の他の生活でも退院後生活をイメージすることに繋がり、入院中から病棟生活全般を
歩行で行なう生活スタイルが確立できたと考える。病院の大切な役割は「在宅生活の
イメージ化」であると言われている¹⁾。また、回復期リハ病棟において、退院前の期
間は円滑な在宅生活への復帰に向けた生活スタイルの適合・調整などを行う時期とさ
れている²⁾。このことから、今回のように退院後生活をイメージ化することで、入院
中から生活スタイルを確立できたことは、円滑な在宅生活への復帰に寄与する重要な
関わりだったと考える。

[参考文献]

- 1) 中村春基. 作業療法ジャーナル. 2015 ; 49, 6 : 464-471.
- 2) 回復期リハビリテーション病棟協会. 回復期リハビリテーション病棟のあり方 指針.
1, 2017.